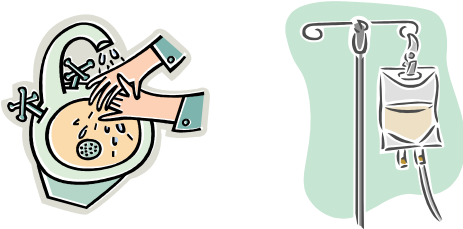


診療所における院内感染予防のポイント

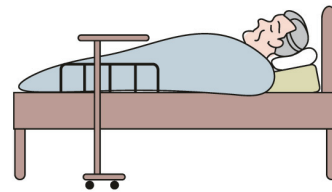
院内感染とは 医療施設内において患者が原疾患とは別に新たな感染症に感染すること、または、職員等が医療施設内において感染することをいいます。

院内で問題になる感染症の主な発生の原因

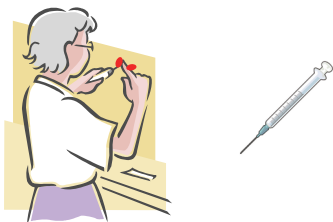
1 治療や処置に関連した感染



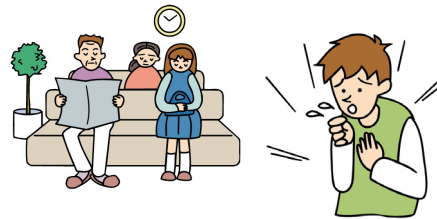
2 抵抗力の低下に伴う日和見感染



3 針刺し事故などによる感染



4 市中で流行している感染症の院内持ち込み



院内感染は、人を介して、または医療器具を介して発生します。

平常時から、院内での感染症の発生を予防し、発生した際には、すみやかに感染の拡大を防ぐ対策をとることが重要です。

このリーフレットは、平成17年5月に全面改定した「院内感染予防対策マニュアル」（東京都福祉保健局発行）を参考に、診療所（有床診療所を含む）として、院内感染の予防対策をとるために必要なポイントをチェック項目にしてまとめました。日常の自己点検にご活用下さい。

詳細は下記をご覧ください。

「院内感染予防対策マニュアル」東京都福祉保健局ホームページアドレス
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/ian/shidou/manual.html>



東京都西多摩保健所

標準予防策(スタンダードプリューション)は感染予防の基本です

全ての人の血液・体液や分泌排泄されるもの(尿・便・痰・膿・唾液など)は、感染のおそれがあるとみなして対応することが重要です。

感染は、病原体が口、鼻、目、尿路、創部などから体の中に入っておこります。日頃から、感染予防対策マニュアルを整備し、院内全体で標準予防策を徹底し、対応しましょう。

1 確実な手洗いが重要

手洗いは適切な時期に行っていますか

…感染性があるもの(血液、体液など)に接触した時、患者の処置・ケアの前後、手袋を外した後など…

正しい手技で15秒以上、手洗いを行っていますか

手洗いに必要な液体石けんやペーパータオル及び擦式消毒薬は適切に配備していますか

2 手袋、ガウン、マスクの適切な使用

適切な時に手袋を使用していますか

…感染性があるものに接触する時、ケア・処置時、器具の洗浄、消毒時など…

…感染性があるものに接触があったら、同一患者でも他の部位に触れる前には手袋を交換…

飛沫感染が予想されるときには、サージカルマスクを使用していますか

接触感染が予想されるときには、ガウンを適切に装着していますか

ガウンなどの着脱、交換、保管は正しく行っていますか

感染性のあるものを取り扱う場合、汚染を防ぐために、手袋、ガウン、マスクなどが必要です。

3 器具類の取り扱いは要注意

職員が共通に対応できるようにしましょう。

器具の洗浄・消毒・滅菌は、専用の場所で適切に行っていますか

想定される病原体に応じた消毒薬を選択し使用していますか

清潔、不潔区域を区別し、患者に使用した器具は、清潔な区域には置かないように扱っていますか



4 リネン類の適切な処理

汚染されたリネン類などは、取り扱う人の手指や衣服、環境、他の患者などに汚染を広げないように処理します。

汚染されたリネン類を処理する時は、手袋を使用していますか

感染性リネン類は専用の袋に入れ、密閉してから、運搬・保管していますか

5 患者の処置や部屋の配慮

感染経路に応じた対応が必要です。

感染症を有する患者の処置は、最後にするなど、処置の順番を考慮していますか

感染症を有する患者は、個室に移すか、同一病室にするなど適切な配置をしていますか

6 施設の環境整備

基本は清掃による汚染源の除去です。

診療室、待合室、病室、トイレ、手の触れる場所の清掃方法など、施設内の作業手順に沿って清掃を行っていますか



治療・処置の場面で注意すること

治療処置を行う時は、場面ごとに標準予防策を徹底し、ポイントをおさえて対応することが必要です。

消毒用アルコールの管理

- 消毒用アルコール綿は、24 時間以内に交換していますか
- アルコール綿は、十分に湿っていますか
- 過剰なアルコール液を保管容器の中で絞っていませんか

採血や注射、輸血の管理

- 輸液の準備を行うときは、事前の手洗いを徹底し、無菌操作で行なっていますか
- 採血や注射時は、針刺し事故防止のための対策をとっていますか

尿道留置カテーテル

- 尿道留置カテーテル挿入時は、事前の手洗いを徹底し、無菌操作で行っていますか
- 尿道留置カテーテルの留置の必要性について検討していますか

吸引の管理

- 鼻腔内、口腔内の吸引時は、清潔な手袋を使用し、1 回ごとに交換していますか
- 吸引に使用する吸引ピンなどは、患者ごとに専用としていますか



吸入の管理

- 吸入薬液は、その都度準備し、吸入容器は患者ごとに専用とし、使用後は消毒乾燥をしていますか
- 吸入器の接続管や延長ホースは、定期的に滅菌されたものと交換し、滅菌消毒に適さない部分は、薬液での消毒を行っていますか

医療廃棄物の管理

- 輸液や注射など準備をする処置台と、患者に使用した針や注射器などを捨てる廃棄物ボックスは、離れた場所に設置していますか
- 医療廃棄物は専用容器を使用し、詰め替えをしていませんか

外来における感染予防のポイント

外来患者は、感染症の保有状態が不明なので、標準予防策の徹底が重要です。患者の咳、発疹などの状態に応じて、マスクなどの使用や個室の対応が必要になります。

- 診療行為ごとに石けんと流水による手洗いまたは擦式消毒薬を使用していますか
- 感染性疾患の可能性のある患者は、専用の診察室を設定するなど、他の患者との接触を最小限にするよう配慮していますか
- 検査材料(血液、排泄物など)の取り扱いは、手袋を使用していますか

病室における感染予防のポイント

病室においては、標準予防策に加えて感染経路別の予防対策を徹底することが重要です。発生した感染症の特性に対応した予防策で感染経路を遮断し、感染拡大を防止します。

1 接触感染予防

感染性胃腸炎(ノロウイルス)、腸管出血性大腸菌感染症、疥癬、インフルエンザ、MRSA感染症など

- 手袋は、1処置、1ケアごとに交換し、手袋を外した後は、手洗いをしていますか
- 接触により汚染を受ける可能性がある場合は、ガウンを着用していますか
- 病原体や発生状況を考慮し、患者は個室か、同一病室に移動していますか
- 血圧計、体温計などの器具類は、患者個人専用としていますか



2 空気感染予防

結核、麻疹、水痘など

- 部屋は個室にして部屋のドアを閉め、換気(1時間に6回以上)を行っていますか
- 入室するときは、N95 マスクを使用していますか
- 感染症を有する患者が室外に移動する場合、患者はサージカルマスクをつけていますか

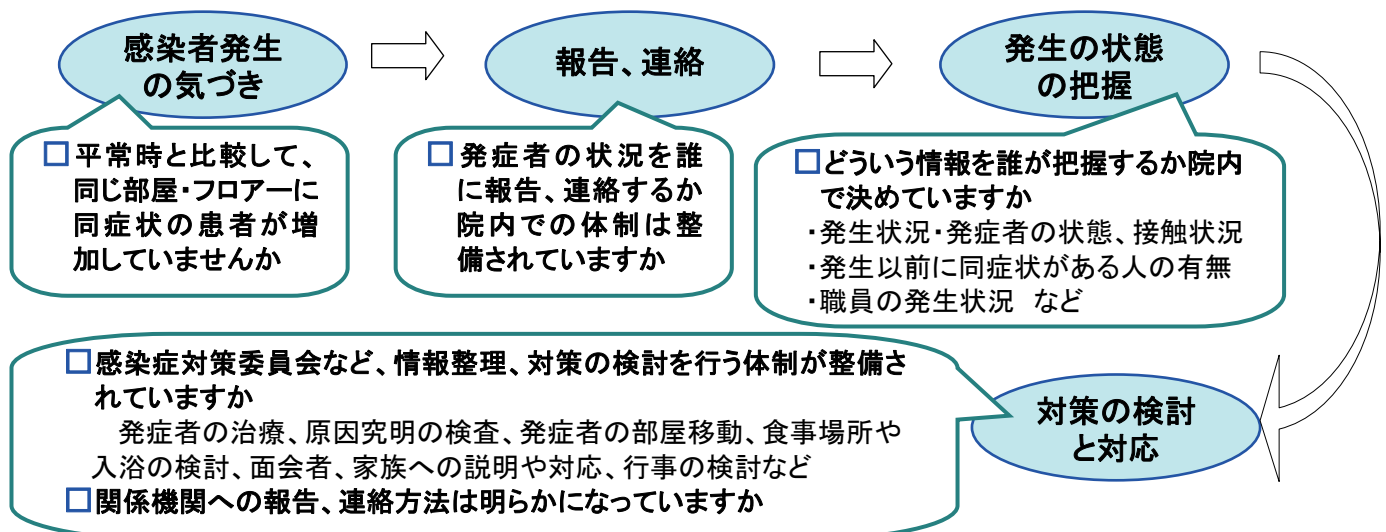
3 飛沫感染予防

インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、溶血性連鎖球菌感染症(咽頭炎、肺炎)、風しん、感染性胃腸炎(ノロウイルス)など

- 患者に1メートル以内に接近、接触する時は、サージカルマスクを使用していますか
- 咳がある患者にサージカルマスクの使用をすすめていますか
- 患者は個室に移すか、同一病室に移動していますか、できない場合、他ベッドとの距離は2メートル以上あけるかまたはパーティションで仕切っていますか

感染症発生時に院内で行うこと

施設内で感染の発生が疑われる場合は、速やかに院内の体制を整えます。感染拡大を防ぐために、全職員への周知を徹底し、組織的に対応することが必要です。



感染症の集団発生が疑われるときは、
西多摩保健所保健対策課感染症対策係
にご報告、ご相談下さい。

「診療所における院内感染予防のポイント」
平成19年3月発行 平成18年度 登録第9号
編集・発行 東京都西多摩保健所
青梅市東青梅 5-19-6
電話 0428(22)6141